

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	山形大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヤマガタダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F106110101176
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	山形県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	フィールドワーク 山形で働く魅力(プレインターンシップ)(山形から考える)
	学部・研究科等名	学術研究院 (学士課程基盤教育機構)
	担当教職員名・役職	松坂暢浩・准教授 山本美奈子・准教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	38
	受入企業等数	25
	受入企業等名	<p>【中小企業：25社】</p> (株)アイン企画 (株)曙印刷 (株)朝日測量設計事務所 (株)アサヒマーケティング (株)A R R O W S (株)エム・エス・アイ (株)大久保硝子店 (株)カーサービス山形 (有)グッピー園 斎藤マシン工業(株) (有)笹木製作所 (株)サニックス ソーラーワールド(株) (株)タマツ 田宮印刷(株) (株)ティスコ運輸 (有)長門屋 ハンズバリュー(株) 山形県中小企業家同友会 西道精工(株) (株)E旅 (株)マルタニ
	インターンシップの分類	6.低学年（大学1年次～2年次程度）からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	主に、中小企業の社長から直接学ぶプログラムや現場で社員と一緒に通常業務に取り組む（営業同行など）プログラムを実施。

要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
		5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している
		7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部1年	
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	山形について学ぶ必修科目の1つとして、地域の中小企業の魅力や働くことについて学び、またインターンシップのプレ体験として位置づけている。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
		3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	参加者の追跡調査（インターンシップの影響や卒業後の進路等）を実施している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前学習の期間は4か月。内容は、以前履修した学生の体験談、ビジネスマナー講座、履歴書の作成、連携団体による中小企業団体の経営者による講話、受入企業の企業研究などを行う。 履修者全員と個別面談を行う。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	各自で体験を振り返り、成果報告の準備（共通で使用するパワーポイントのフォーマット作成と発表のリハーサル）を行う。 受入企業の経営者および担当社員を招いての成果報告会と振り返りを行う。※2021年度はオンラインで開催。	

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	<p>教員は、学生の健康観察や実習状況に関するモニタリングを実習日誌（Googleスプレッドシート）をオンライン上で確認し、内容についてコメントをしている。</p> <p>受入企業には、教員が1日目と最終日に電話やメールなどで連絡を行い状況を確認している。</p> <p>参加学生の変化や進路については、インターンシップ参加後に追跡調査を実施している。</p>
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細	<p>到達目標として設定している「インターンシップ体験を踏まえて、自分にとって働くことはどのようなことか」について文章で提出する。また「中小企業のイメージに変化」と「自己目標の達成度」を5段階で自己評価し、その理由を文章で提出する。また「社会人基礎力」（経済産業省、2010）と「キャリア意識の発達に関する効果測定テスト（CAVT）」（下村他,2009）の変化をインターンシップ実施前後で測定。</p>	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	実施期間5日間（事前訪問1日・現場実習3日・振り返り1日）
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	<p>本インターンシップの授業は、早期からの就業体験を通して、キャリア意識と学習意欲を高め、働くとは何かを考えてることを目的としている。本インターンシップは、地域の受入状況などを考慮し、またインターンシップ実習の期間は、受入企業や学生の負担が少ない3日間の短期としている。そのため事前・事後学習に力を入れている。</p>
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。		1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている

要素 ⑥		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		6.企業と協働して、P D C Aを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	連携機関である山形県中小企業家同友会と定期的に協議し、受入企業向けの説明会や受入先の選定、統一フォーマットによるプログラム作成を行っている。また受入企業への事後アンケート調査も実施している。学生の評価は、教員と受入企業がそれぞれ事前面談で学生の目標を確認し、それを踏まえて、インターンシップ中の評価を受入企業から所見（5段階評価とコメント）として提出してもらっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<p>【文部科学省HP 好事例集】 http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2016/10/07/1355719_001_1.pdf</p> <p>【JASSO HP】 http://www.jasso.go.jp/gakusei/career/internship/jirei/chiiki.html#03</p> <p>【山形大学シラバス】基板共通教育 基幹科目「山形から考える」 https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2021/7sylla.htm</p>
問 い 合 わ せ 先	大学等名	山形大学
	担当部署名	学術研究院（学士課程基盤教育機構）
	担当者役職名	准教授
	担当者氏名	松坂暢浩
	電話番号	023-628-4899
	メールアドレス	yu-gssyushi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp